

あいらニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第25号 令和5年1月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一

あけましておめでとうございます 「歴史人」と「未来人」と!!



いつまでもお元気で!! 一人一人の明るい未来を!!

年頭のご挨拶

会長 前田 昇一

西始良校区の皆さま、新年明けましておめでとうございます。令和五年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

校区の皆さまには、常日頃より校区コミュニティ活動へのご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年間行事・イベントが中止となり、感染対策に明け暮れる厳しい年となりました。ワクチン接種も継続している状況ですが、終息へ向けて「やまない雨は無い」の精神で頑張っているところです。

校区コミュニティ協議会の「向こう三軒両隣、気配り助け合い」のキャッチフレーズを合言葉に、気軽に参加・気軽に楽しめる企画を開催し、住民同士の絆づくりを目標にします。昨年と同じく、西始良校区の皆さまが笑顔で暮らせる、元気な街づくりを今年も目指します。

また、青少年の健全育成活動や環境美化活動、高齢者の見守り活動などの安心安全に暮らせる地域づくりに努め、校区の活性化を図って参ります。

今後とも、西始良校区コミュニティ活動へのご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。そして、皆さまにとって健康で幸多い年でありたいことを祈念し、年頭の挨拶の言葉といたします。

頼って下さい! 5人の民生児童委員を!!

気軽に声をかけて下さい
民生委員・児童委員
岩重 小夜子

私は東自治会の民生・児童委員をさせて頂いて8年3カ月になります。

活動内容は定期的に各家庭を訪問し、住民の方の生活上の心配や悩みなどの相談に応じ、その内容に応じて行政をはじめ適切な支援やサービスへおつなぎする仕事と共に、高齢者の一人暮らしや障がい者世帯の見守り活動を行っています。また、小中学校と連携をとり、子ども達の登下校時の声掛けや見守り活動も行っています。

私たちの住む地域も高齢者の方々が増えてきています。地域では高齢者の方々が生き生きとした生活が送れるように、月1回「いきいきサロン」を開いています。そこではゲームや体操、お花見やクリスマス会などの行事をし、皆さま楽しんでいただいています。

いつでも気軽にお声をおかけ下さい。

頼りになる民生委員・児童委員として
民生委員・児童委員
田中 美佐子

百年を超える歴史ある民生委員・児童委員の委嘱を受けて2年が過ぎようとしています。

その間、微力ながら担当地区である3丁目(西自治会)で、困りごとのある人や高齢者や障がい者のいらっしゃる世帯等を必要に応じて把握し、支援が必要な方の生活に関する相談に応じ、助言や援助を行い必要によっては関係機関につないできました。

世間では児童虐待の報道も多い中、幸いにして私の担当地区ではそういう事の相談はありませんが、地域住民で子ども達を見守っていかれたらと思います。

今後日本の総人口が減少に転じていく中、高齢者の占める割合は増加していくことが想定されています。民生委員は「住民の身近な相談相手」と言われています。特に私の担当する中で多い、一人暮らしの高齢者を必要に応じて訪問し、色々な話をして少しでも孤独感から解放され喜ばれるように、頼りになる民生委員として頑張りたいと思います。

ご近所さんへの恩返しの気持ちで
民生委員・児童委員
榎園 やす子

思えば30年前、始良ニュータウンに家を建て移り住んだ時、ご近所さん・PTAに支えられ、とても充実した毎日でした。ご近所さんと七夕祭り・夏のキャンプ・クリスマス会等、あらゆる四季のイベントを楽しみました。わずか3年間で、懐かしき若き日の思い出です。夫の転勤により20年間様々な地で子育てをして、10年前に帰って来ました。子ども世代が親世代に代わっていました。転勤中は空き家にしていましたので、休みに帰って来た時、心が落ち着き癒されたように思います。

民生委員の話を聞いた時、迷いや不安もありましたが、ご近所さんや転勤先でも多くの方々に支えられたことを思い出し、恩返しと思ひ受けました。家族も背中を押してくれました。力不足ですが、見守り隊や相談役・専門機関へのパイプ役として、一歩一歩地域の方々の力になれるよう尽力したいと思います。

*榎園やす子さんは万福勝則さんの後任です。西始良1丁目1~10、13~19、51、県住の担当です。

はじめまして
民生委員・児童委員
箱崎 啓子

一枚の新聞広告で始良ニュータウンを知り、郊外の立地の良さと土地の安さ(笑)にひかれ住み着き、早40年余り。

思った通り住環境は素晴らしく、子育てにも最適な場所となりました。安心して仕事にも邁進して参りました。これもひとえに、自治会長はじめ地域の皆様方のご尽力のおかげと感謝致します。

この度永年に渡り、民生委員・児童委員として多方面でご活躍された谷口洋子さんの後任として、右も左も分からない私がこの様な大役をお引き受けする事になりました。

隣近所の顔が見える挨拶、声掛け、防火防災。日常生活における適度なお付き合い。近所で助け合える関係。安心して生活できる環境になるように、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。初心者マークの私です。ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

*箱崎啓子さんは、西始良1丁目11・12・20~37・40・41の担当です。

安心してご相談下さい
民生委員・児童委員
内田 義治

民生委員・児童委員をさせていただいてます。内田です。受け持ち区域は4丁目です。平成25年12月に委嘱を受け、現在4期目で10年目を迎えました。(任期は一期3年です。)

活動内容は、担当区域の高齢者や障がいがある方の福祉に関する事、子育て等の不安に関する様々な相談や支援が必要な方等、それぞれの事情に応じて助言をさせていただきます。

関係機関との連携・協力も欠かせない活動の一つです。

また、児童・母子・父子家庭等の状況把握、校区小・中学校の校長先生をはじめとして先生方との連携を密に行い、児童・生徒の登下校時の「声掛け・見守り」も重要な活動の一つです。

民生委員・児童委員は活動中に知り得た事は守秘義務を課せられています。また職を辞した後も同様に守秘義務を順守しなければなりません。お困りごとや支援が必要な方は、安心してご相談下さい。

*内田さんは、コミュニティ協議会・福祉部長も兼任されています。



編集後記

気持ちよく目が覚めた。新聞に楽しく嬉しい記事一杯。朝ご飯が美味しい。子どもたちの元気に登校する声が聞こえる。学校、仕事、皆が元気に仲良く楽しく活動できる。「だいたい」と家族が元気に帰って来る。ゆっくりにお風呂に浸かる。家族揃っての楽しい夕食。お休みなさい。また良い明日を。

(健坊)

新年のご挨拶



総務部長・東自治会会長
下川路 久夫

東自治会の皆さま及び校区の会員の皆さま方には、日頃からお世話になり厚く御礼申し上げます。近年に渡り、新型コロナの為に行事等が行えませんでした。今年こそは各行事等が実施される事を願っております。東自治会としては、今年も定期総会を実施して皆様方のご意見を聞き、一年間の地域づくりを活性化したいと思います。東自治会の高齢化も進んでいますが、皆様方のお力添えをいただき、明るく住みよい街づくりを目標に邁進してまいります。



「ありがとう！」



地域づくり部長・西自治会会長
清水 裕 二

先日、一人で公園の砂場を掃除していた時の事。近くで遊んでいた小学二年生くらいと思われる女の子が、「何かお手伝いできる事があつたら言つて下さい！」との思いもよらぬお声掛け。嬉しさのあまり言葉に詰まって「ありがとう！」とだけしか応えられなかった。きっと日常の中でも思いやりや感謝の言葉が飛び交っているであろう、温かく心優しい家庭の姿を思い描いた。

一方、自治会加入キャンペーンのある日、新規転入世帯に伺った時の事。「自治会への加入宜しくお願いします。」と申し上げるや否や、開口一番に「自治会に入つて何のメリットがありますか？うち結構です！」と。あれこれとメリットの説明を申し上げるが取りつく島無し。近年は会員・役員への負担が少しでも軽減するように、いろいろ工夫してきました。自治会活動は損得ではなく、地域をより安全でより住みやすくするための奉仕活動であります。いつもご協力頂いている皆さま、「ありがとう！」

新年は「絶望」から「統合」の年に



事務局長・南自治会会長
濱田 健一

新しい年の初めに皆さん、良い夢を見られましたか？
変異を続けて生き残る新型コロナウイルスとの共存の日々・世界の世情不安からくる円安での物価高騰・OECD先進三ヶ国中で賃金水準が最も低いランクの我が国等、昨年「不安」どころか「絶望」に近い一年だったように感じます。

その様な中で、西始良コミュニティ協議会とそれを支える基本組織・五つの各自治会では、変わらぬ「支え合い・助け合い」精神で多くの課題を克服しながら、一年間を何とか無事に乗り越えてまいりました。高齢化・空き家・自治会未加入等、中々難しい課題もあります。しかし、私たちのこの西始良地域の様に「語れば解り合える」地域は余りありません。だからこそ、少しずつ前進可能な私たちが信じます。
ある心理学者が、「絶望」の心を「統合」の心へ変化させる姿勢を、と呼びかけています。私は・私たちはこうだったのに・こうできていたのに、いまはダメになったという「絶望」。ではなく、今の私たち・今の私でも、これもまだ出来る、これもあれもこれからやっつていこうという志向が持てる。とても大事なことで感じました。これが「統合」の心だそうなんです。
今年「どんな良い事があるのだろうか？」精神で「行きましょか？」

「皆さん、チエスト行け！」



事務局次長・県住自治会長
鶴 宗太郎

明けまして、おめでとうございます。県営住宅の会長をさせて頂いています、鶴と申します。二年目となりました。会員の皆さまのご協力もあり、何苦勞なく過ぎていきます。私もここに住んで三十年になり、子どもたち四人も西始良小・重富中と巣立って行きました。今では孫六人にも恵まれ、じ〜じとば〜ばは孫たちへの「給付金」の為に、日夜頑張っているところです。

コロナも収まりかけて安心していたらまた増え、ゼロを迎えられる日はあるのか？コミユニティの運動会、十五夜祭り、文化祭を何不自由なく開ける日を心から願っています。マスクが取れ白い歯を見せながら、周りを気にせず笑顔で語れる日を待ちましょね。「今年一年、皆さんチエスト行け！」



ベタタンク



ソフトバレー



グラウンドゴルフ

みんなで楽しく健康づくりを



健康部長
榎園 成人

新年おめでとうございます。令和四年はコロナ禍の中、健康部で計画しましたソフトバレー・ベタタンク・グラウンドゴルフ大会の行事が、変更しながらも開催出来ました。参加していただいた方々はしっかりと汗を流し、各自治会との交流も楽しんでいただきました。実施した時はコロナの不安はありましたが、万全の対策の中での大会として、三年ぶりに実施でき良かったなと思う事でした。

今後まだまだ続きそうなコロナ禍の中で、西始良の皆さんの交流が楽しくしっかりと取れるよう、健康部で計画していきたいと思えます。健康部の行事は三月に「歩こう会」を計画しています。幼児から高齢者まで多くの方々が、自由に自分の体力に合わせて参加できる健康づくりのイベントです。校区全体で気持ちの良い汗をかき、楽しく健康づくりをしましょう。参加を宜しくお願致します。
*榎園成人さんは権丈 正さんの後任の健康部長さんです。南自治会副会長も務められています。

誇れるふるさとづくりを夢見て



青少年育成部長
鶴木 孝夫

コロナの影響を受けてから三年が過ぎます。「青少年意見発表会」も三年続けて誌上発表の形となりました。

さて現在の小学三年生までは、子ども会活動もほとんど経験していない状態です。数年前まで子ども会加入率は80%を超えて、始良市でトップの状態にありましたが、一年前には50%を割る状態になりました。

育成会役員の方から、「二、三年後には西始良校区の子ども会は消滅してしまうかもしれない。」という相談を受け、校区コミュニティ協議会では児童全員を加入者とさせて頂いていただきました。

子どもたちにとって、誇れる「ふるさと西始良」を創ると共に、地域で子どもたちを見守り育てていた、昔の自然な姿を復活させたい考えもあります。地域の連帯感を強くし、多忙な若いお父さん・お母さんに代わって、地域全体で子どもたちを育てる気風がみなぎることを見えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

